



ろうさいニュース

第299号 平成21年7月1日

■ 浜松労災病院

放射線科：遠隔治療計画システムを導入した放射線治療について

平成 19 年 8 月にリニアック装置を Varian 社製に更新し放射線治療を行っています。更新前は 4 MV-X 線、と電子線を用いた放射線治療でしたが、新装置では、X 線で 4 MV、10 MV、電子線に於いては 4 MeV、6 MeV、9 MeV、12 MeV、15 MeV が設定できます。使用最大エネルギーと線種が増えたことで、治療部位へのアプローチや照射方法が症例にそって計画できるようになりました。

以前のリニアック装置では、CT による画像を基に治療範囲を決定し、放射線治療時は CT 画像・X 線写真とリニアックグラフィーを目視により位置の補正を行い精度を確保していました。新装置では、CT のデータを治療計画装置に転送し、3 次元の画像情報をもとに治療計画を行い、治療計画データをリニアック装置本体に転送し放射線治療を行っています。治療計画は名古屋市大とオンラインで接続し、遠隔治療計画支援システムにより運用しています。当院の CT 画像データをオンラインで名古屋市大に転送し、名古屋市大で放射線治療専門医により治療計画を実施した後、計画された放射線治療線量分

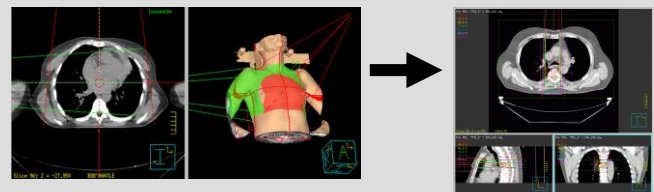
布図や治療方法等を当院リニアック室の治療計画装置で受け取り、治療管理装置に転送することで患者治療が行われます。治療時の実際の照射野は、治療装置に付随しているオンボードイメージャーやポータルビジョンなどで確認し、正常組織に照射されないようにするため精度を上げています。治療台に寝ている患者さんを撮影し、撮影した画像と、治療計画からの画像を同一画面上に重ね合わせて位置照合と補正を行っています。

この結果、放射線治療の照射精度は 0.5mm まで保証され、毎回の患者治療において照射位置精度が高レベルで保たれています。

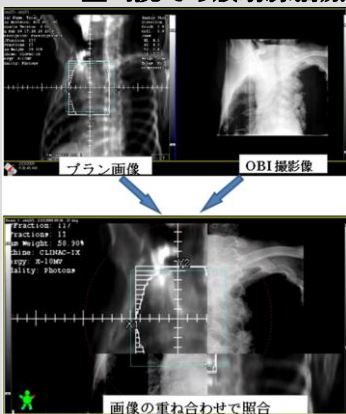
治療計画の進展状況を把握するために、二次画像や線量処方データ、線量分布図などをカルテに添付し、リニアックグラフィーを診療科でモニタリングすることで、依頼医師が実際に行なわれている放射線治療を把握しやすくなっています。放射線治療専門医による診察は毎週水曜日と隔週月曜日に名古屋市大から延べ 3 名の医師により行っています。

■遠隔治療計画システムによる治療計画の立案

治療計画は遠隔治療計画システムにより名古屋市大で CT 画像をもとに 3 次元的に治療計画をたて、症例に合わせて最適な治療法を立案しています。



■当院での放射線治療



当院では名古屋市大の治療計画にそって、患者との位置合わせと放射線治療のために、プラン画像とリニアック装置本体の位置決め装置 (OBI) で撮影された画像を合成し、目的部位に放射線治療を行っています。

今後もより精度のある放射線治療をめざし、機器の制度管理、放射線線量管理の徹底を行っています。癌治療の一因をになう放射線治療により患者さんの Quality of Life に役立つ事、根治治療のために精度の良い治療ができるよう精進していきたいと思っています。

(放射線科 放射線治療担当 本樫、森下、守屋)

■特定健診のご案内

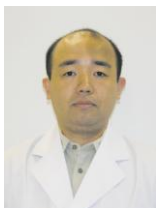
当院では、特定健康診断に伴う平成 21 年度の特定保健指導(「動機づけ支援」・「積極的支援」)を 7 月 1 日から実施致します。管理栄養士・理学療法士等により生活習慣のサポートをいたしますので是非ご利用ください。

【お問い合わせ・予約窓口】
浜松労災病院 医事課 健診係
Tel(053)462-1211(内線 2059)

■人事異動

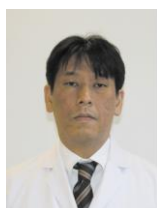
(採用)平成 21 年 6 月 15 日付け

外科 医師 岩井 輝
【専門分野】
一般外科
【資格等】
日本外科学会認定医



平成 21 年 7 月 1 日付け

耳鼻科副部長 平木 信明
【専門分野】
耳鼻咽喉科一般
【資格等】
日本耳鼻咽喉科学会
耳鼻咽喉科専門医
騒音性難聴担当医
日本医師会認定産業医



整形外科 田場 健
【専門分野】
整形外科外傷



よろしくお願いたします。